

令和7年度 園芸科「農業と情報」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	園芸科 1年A組
教科書	農業と情報（実教出版）	副教材等	ビジネス文書実務検定試験模擬問題集3級

1 学習の到達目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業に関する情報を主体的に活用するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 農業に関する情報について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。
- (2) 農業情報の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる物として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 農業に関する情報について主体的に調査・分析・活用ができるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的活共同的に取り組む態度を養う。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 私たちの生活と農業の 情報化	1. 情報社会における 私たちの生活 2. 情報とメディア 3. 情報社会とモラル	情報の意義と役割を理解する。インターネットと情報社会の役割を理解する。 メディアリテラシー理解する。 情報社会の光と影がわかる。 SNSの機能を理解する。 個人情報の取り扱いと知的財産権の保護を理解する。	メディアリテラシーが理解できたかを確認 情報社会のモラルを守る心がまえ情報社会の危険への対応のしかたを身につけられたか確認
5		4. 農業を支える情報	農業における情報の役割を理解する。 情報活用による農業の発展を創造し、データ活用による新しい農業を理解する。 学校農場において、情報利用ができる事を理解する。	情報通信ネットワークの概要、しくみと特徴が理解できたか確認
6	第2章 社会を支えるコンピ ュータ	1. コンピュータの仕 組み 2. データや情報の表 現	ハードウェア、ソフトウェアの仕組みを理解する。 コンピュータで処理される情報を理解する。 2進法と情報量、データや情報の種類を理解する。 文書作成ソフトウェアの特徴と機能を理解する。文書作成ソフトウェアの基本操作を修得する。	農業による情報の役割を理解できたか確認。 農業のデータ活用の必要性が理解できたか確認。 ハードウェアとソフトウェアの違いが理解できたか確認
7	第3章 コミュニケーション と情報デザイン	1. 情報表現のための ソフトウェア 2. 文章の作成と表現	Wordを活用し、キーボードを利用した文字の入力実習を通して、ワープロの利用方法とキーボード操作を習得する。 繰り返しの文書作成問題の実習を通して、文書作成の速度と正確さを高める。	ワープロソフトに主体的に取り組むことができるかを確認 速度問題に積極的に取り組むことができているかを姿勢と入力データで確認 Word機能を理解し、文書を作成することができるかを入力データと提出物で確認
			期末考査	
9			1学期同様にWordを使用し学習をする。 Wordを活用し、キーボードを利用した文字の	ワープロソフトに主体的に取り組むことができるかを確認

			入力実習を通して、ワープロの利用方法とキーボード操作を習得する。	速度問題に積極的に取り組むことができているかを姿勢と入力データで確認
10	第4章 スマート農業への展望	1. スマート農業の目指す将来	スマート農業のしくみについて理解する。 データの重要性や農業情報システムの役割について理解する	スマート農業のしくみについて理解できたかを確認 データの重要性や農業情報システムに役割について理解できたかを確認
11		2. プログラムの設計	プログラム設計の流れを理解する アルゴリズムとフローチャートの作成を理解する。 コンピュータを使用し、実際にプログラミングを行い、入力方法を理解する。	プログラム設計の流れについて理解できたかを確認 アルゴリズムとフローチャートの作成について理解できたかを確認 プログラミングの内容を理解しているかを入力データと提出物で確認
12	第5章 農業情報の分析と活用	1. 農業情報の収集と分析	農業情報の種類と内容を理解する。 内部情報と外部情報の関わりについて理解する。	農業情報の種類と内容について理解できたかを確認 内部情報と外部情報の関わりについて理解できたかを確認
		期末考査		
1	第6章 農業学習と情報活用	1. 農業学習とプロジェクト学習	農業学習の特徴について理解する。 プロジェクト学習の四段階（課題設定、計画立案、実施、評価・反省）について理解する。 プロジェクト学習の進め方を理解する。	農業学習の特徴について理解できたかを確認 プロジェクト学習の四段階について理解できたかを確認 プロジェクト学習の進め方について理解できたかを確認
2				
3		期末考査		

3 評価の観点

知識・技術	多様で大量の情報と情報技術が産業社会や人間に与える影響などを考察し、情報の意義や役割を体系的に理解し、情報技術や情報通信ネットワークの活用、その仕組みや効果について、農業情報及び環境情報に関する体系的な技術を身に付けている。
思考・判断・表現	学校の実習や産業現場での体験を通して、目的や条件に合わせて各種の情報の価値を判断し、情報通信ネットワークを活用した情報の収集・分析・統合・加工・発信などの方法や手法を選択できるとともに、成果を効果的に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	進展する情報社会の特徴や仕組みに関心を持ち、その仕組みや効果について体系的に取り組むとともに、農業情報及び環境情報を主体的に活用する能力と態度を身に付けている。

4 評価の方法

定期考査素点、3観点（知識・技術、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）、出席点を総合的に評価する。

【評価の観点】

- ・情報社会でのモラルやソフトウェアの利用について知識及び技術の習得状況について評価する。（知識・技術）
- ・情報に関する既存の知識・技術と関連づけをし、活用する事ができるか評価する。（知識・技術）
- ・情報に関する知識・技術を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか評価する。（思考・判断・表現）
- ・文書作成ソフトウェアや表計算ソフトウェアを活用し、作品制作や表現等の多様な活用ができるか評価する。（思考・判断・表現）
- ・自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自ら調整しながら学ぼうとしているか評価する。
(主体的に学習に取り組む態度)

5 担当者からのメッセージ

- ・出席を常にしてください。
- ・パソコンを使う演習中心の科目です。機器類を丁寧に扱い、室内を常に清潔にしてください。
- ・移動教室なので集合時間を厳守してください。

